

『上手な誘い方』

1. 展開案

過程	学習活動	教師のはたらきかけ	留意すること
わかる	1. 本時の目標を知る。	<p>○今日は、上手な誘い方について学習します。みんなの前で発表したり、練習したりすることがありますが、ふざけたり恥ずかしがりせず積極的に取り組みましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ふざけない ・恥ずかしがらない </div> <p>○今までに友達からの声かけで嬉しかった体験を思い返してみましょう。</p> <p>○自分から声を掛けようと思っても、なかなか行動を起こせない人もいます。</p> <p>○特に、一人でいるときは心細くなりがちです。そのようなときに笑顔で優しく声をかけてもらおうとホッとしますね。</p> <p>○今日は、そんなときにどのような行動をとったらよいか考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールが必要な理由を添えて説明する。 ・生徒に発表させる。その時の気持ちも聞く。 ・教師の体験談を話してもよい。
上手な誘い方の練習をしよう			
	<p>2. モデリングを見て誘い方のポイントを知る。</p> <p>【モデリング】</p> <p>I 遠くから誘う</p> <p>II 近づいて、笑顔で誘う</p>	<p>○友達を誘う2つの場面を見て、どちらの誘い方のどんなところがよいか考えてください。</p> <p>○どちらの誘い方のどのようなところがよかったと思いますか。</p> <p>○上手に誘うポイントをまとめましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【誘い方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①相手に近づいて ②相手の目を見て ③聞こえる声で ④笑顔で </div> <p>○最初は、誘いたい人の近くに行きます。相手の目を見て、そして聞こえる声で話しかけることが大切です。誘う人が笑顔で誘うと、誘われる人も嬉しくなりますよね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と生徒、または生徒同士で演じさせる。 ※モデリングシナリオ参照 ・誘われた役の生徒が感じたことを発表させる。 ※ワークシート参照 ・ワークシートを配布し、ポイントを記入させる。
やってみる	3. 誘い方のポイントに気を付けて練習①をする。	<p>○これから練習をします。4人グループを作って、「誘う役」「誘われる役」「他のメンバー役」「観察役」を決めてください。</p> <p>○役割が決まったら、誘い方のポイントに気を付けながら練習してください。</p> <p>○1回の練習が終わったら、「観察役」はよかったところを伝えてください。</p> <p>○役割を交代しながら、全ての役割を練習してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの活動を観察し必要に応じてアドバイスをする。 ・「観察役」はポイントを押さえて誘うことができているか観察するように促す。

	<p>4. 練習①を振り返る。</p> <p>5. 誘い方のポイントに気を付けて練習②をする。</p> <p>6. 練習②を振り返る。</p>	<p>○全ての役割の練習が終わったら、それぞれワークシートに自己評価をしてください。</p> <p>○4つのポイント以外でよかったところを紹介してください。</p> <p>○場面を変えて練習しましょう。ワークシートにある場面の中から各グループで2つ選び、練習してください。</p> <p>○4つのポイント以外のポイントを加えてもいいです。</p> <p>○1回の練習が終わったら、「観察役」はよかったところを伝えてください。</p> <p>○役割を交代しながら、全ての役割を練習してください。</p> <p>○全員がそれぞれの役割を練習したら、ワークシートに自己評価をしてください。</p>	<p>・ポイントを自己評価させる。</p> <p>・数グループに発表させ、その都度褒める。</p> <p>・練習する前にシナリオを考えさせてもよい。</p> <p>・各グループの活動を観察し、必要に応じてアドバイスをする。</p> <p>・新たなポイントはワークシートに記入させる。</p> <p>・「観察役」はポイントを押さえて誘うことができているか観察するように促す。</p> <p>・ポイントを自己評価させる。</p>
ふりかえる	<p>7. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日は上手な誘い方について練習しました。今日の学習を振り返って、ワークシートに記入しましょう。</p> <p>○一人にいる人に、声をかけることは勇気が必要です。勇気を出して誘っても、そのときは都合が悪かったり、断られることがあったりするかもしれません。その時は「それじゃ、今度一緒にやろうね」と次の機会に期待しましょう。</p> <p>○日常のいろいろな機会を利用して、周囲の人に声をかけてみてください。</p>	<p>※ワークシート参照</p> <p>・ワークシートに記入させ、回収する。</p> <p>・誘ったときに、断られる場合もあるが、気にすることがないように留意させる。</p> <p>・学校行事の前であれば、行事後の感想文などに、仲間に誘ったり、誘われたりした機会があったか記入させてもよい。</p>

モデリングシナリオ

場面設定

1学期のクラスマッチのチームを決めることになった。競技種目はバスケットボールです。生徒たちは仲のよい友達と集まって、チーム編成をしていた。

生徒A：周りの人に声をかけることができず、一人でポツンとたたずんでいる。

生徒B：一人でいる生徒Aを自分の班に誘おうとしている。

モデリングⅠ 遠くから、大きな声で呼びつける。

生徒B：「Aさん、まだチームが決まっていないようだけど、このチームに入ってもらっていいかな？」

友 達：「うん、いいよ。」

生徒B：（遠くにいる生徒Aに向かって）「Aさん」

生徒A：（周りが騒がしく聞こえない）「……」

友 達：「聞こえてないみたいだよ。」

生徒B：「Aさん、一人だよ。こっちにおいでよ。」（Aを呼び寄せる）

モデリングⅡ 誘いたい人に近づいて、笑顔で誘う。

生徒B：「Aさん、まだチームが決まっていないようだけど、このチームに入ってもらっていいかな？」

友 達：「うん、いいよ。」

生徒B：（生徒Aのところへ行き、やさしく声をかける。）

「Aさん、まだどこのチームに入るか決まっていないの？」

生徒A：「うん。まだ決まっていなくて。」

生徒B：「もしよかったら、私たち(僕たち)のチームに入らない？」

生徒A：「いいの？」

生徒B：「もちろん！みんな、あんまりバスケットボールはうまくないけど、楽しくやろうよ。」

生徒A：「うん、ありがとう。」

3. 活用場面のアレンジ例

「⑤仲間の誘い方」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

昼休み何して遊ぶか話しているとき、話に入っていないが近くにいる友達へ
グループを作る場面で、一人である友達へ
遊んでいるのを、近くで見ている友達へ
楽しい話で盛り上がっているとき、近くで見ている友達へ
休み時間ひとりぼっちである友達へ
放課後や休みの日に友達を遊びや習い事に誘うとき
遠足で弁当を一人で食べている友達へ
移動教室のとき
係活動をするとき
部活動で遅れてきた友達へ
部活動でグループを作るとき
クラスマッチのグループを決めるとき